



週刊 防衛副大臣 おにき 誠



フィリピン訪問 初日

4月28～30日でフィリピンを訪問。島国である日本とフィリピンは、海洋安全保障において同じ価値観(法の支配・航行の自由など)を共有しています。日本とフィリピンの防衛協力を加速するため、国防大臣との会談や日本製レーダーの納入式典に参加します。

28日9時45分に羽田を出発。直行便で約5時間かけて13時半にマニラへ到着(日本との時差は1時間)。

15時からヘラクレオ・アラノ海軍基地を訪問。マニラ市街から少し離れた砂州(福岡で言えば志賀島みたいなところ)に立地しています。日本が無償提供した海自練習機TC-90がどのように活用されているかを視察しました。

18時半から在フィリピン日本大使館にて、遠藤大使による現地情勢ブリーフを兼ねた夕食懇談会を開いていただきました。

南シナ海では中国による軍事拠点化の推進(スカボロー礁の実効支配)や、沿岸国に対する威圧的な活動(セカンドトーマス礁での中国によるフィリピン船への高圧放水)が行われています。力による一方的な現状変更の試みは容認されるべきではありません。



フィリピン訪問 2日目

9時20分から英雄墓地にて献花。どの国にも、国のために戦って亡くなった兵士を弔う施設があり、海外からの国防関係者も敬意を込めてお参りします。

10時20分からフィリピン国防省にてテオドロ国防大臣を訪問。日本フィリピンRAA(部隊間協力円滑化協定)の早期締結や、防衛装備移転など、様々な防衛協力について話し合いました。

12時からエスピノ筆頭国防次官 主催の昼食歓迎会。14時半からキャンプアギナルドにて、米比合同訓練バリカタンを視察。アメリカとフィリピンの合同訓練を間近に観ることができました。

15時から同基地内にて警戒管制レーダー納入式典。同レーダーは日本が海外に輸出した初の完成装備品となります。2023年10月の固定式レーダーに続き、今回は移動式レーダーの引き渡し式となります。日本を代表してスピーチしました。

18時半から在フィリピン日本大使館に防衛装備担当ミソン国防次官をお招きし、日比レセプションが開催されました。装備担当の次官は日本の防衛技術に大いに関心を示されました。

